

評論文の読み方：主張と根拠

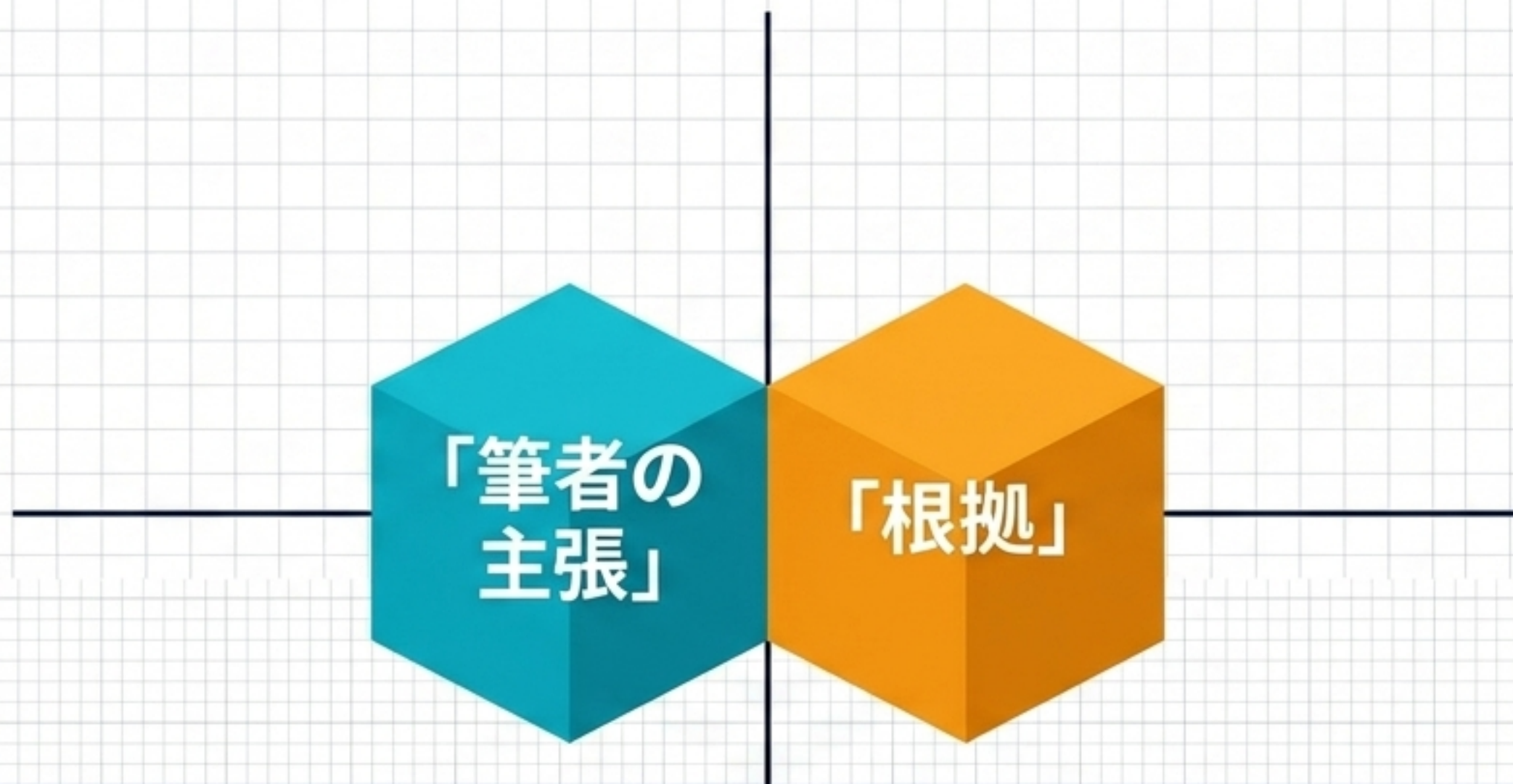
共通テストにおける情報抽出プロトコル

共通テストは「時間との勝負」である



情報を「読む」のではない。
必要なデータを「抜き出す」プロトコルをインストールせよ。

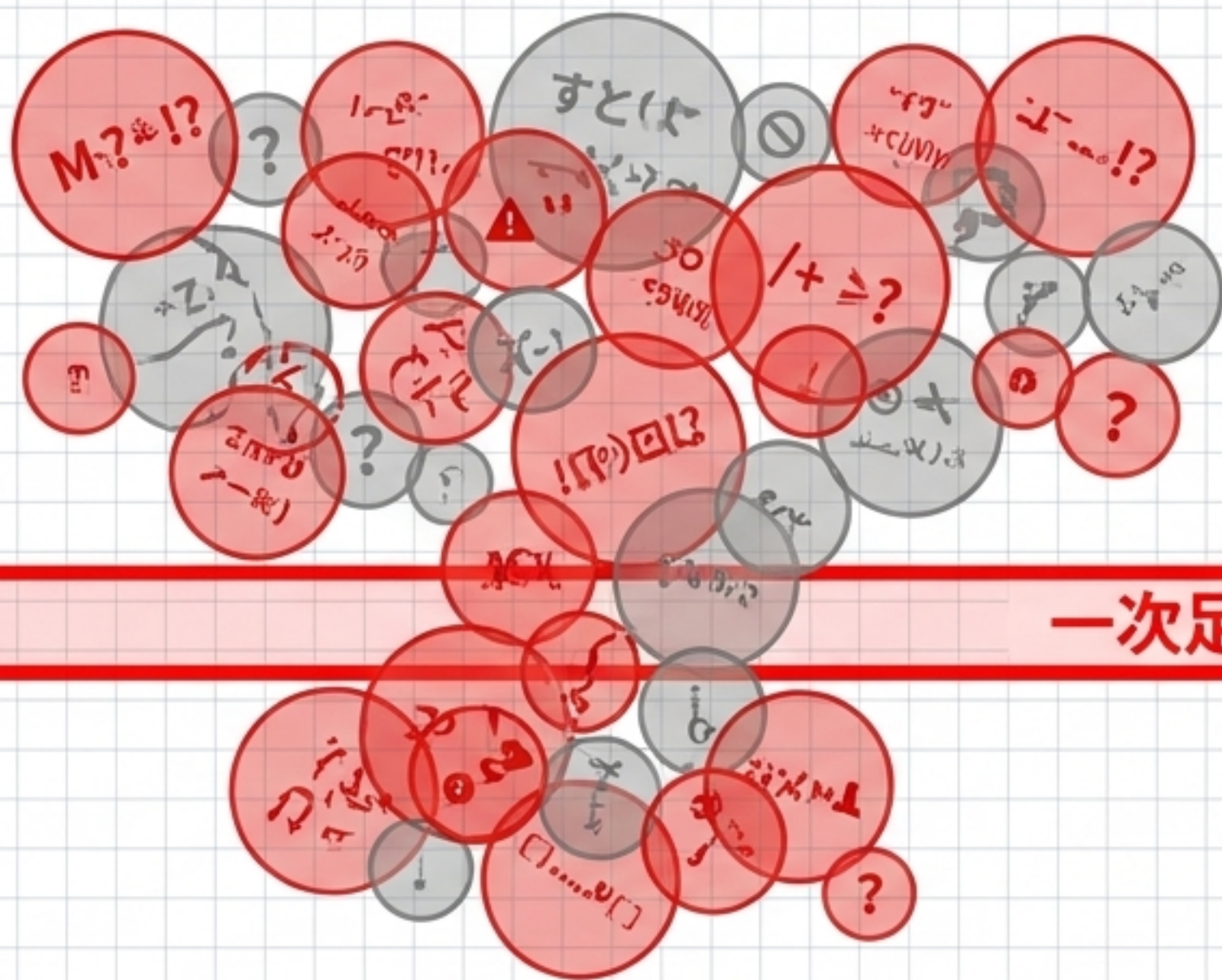
今日のゴール



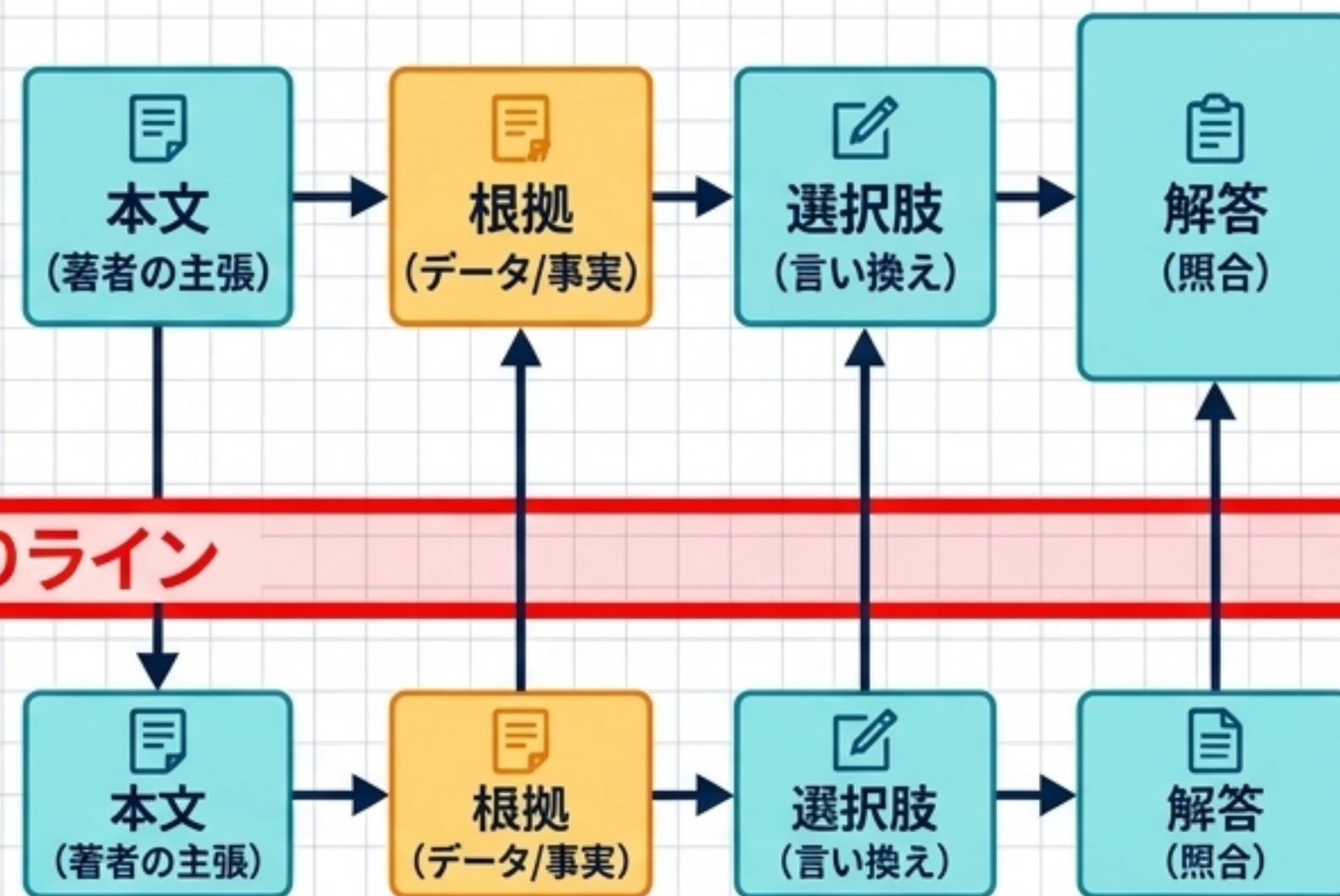
評論文で「筆者の主張」と「根拠」を区別して抜き出せる。

受験での位置づけ：足切りを回避する「型」

アマチュアの読み方 = 本文 + 自分の価値判断 (NG)

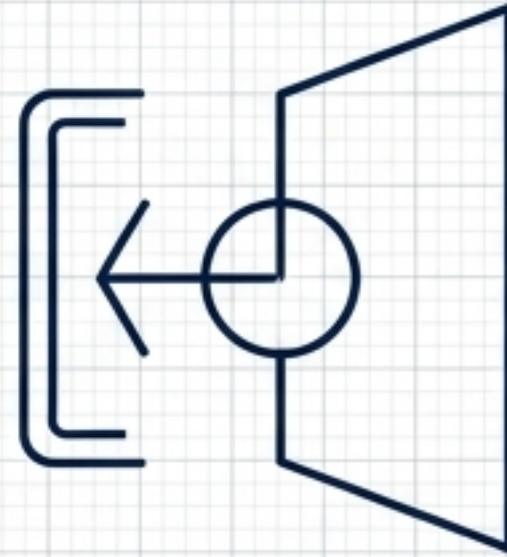


共通テスト攻略の方針 = 選択肢は言い換え勝負。
本文にない価値判断を一切足さない。



根拠を本文・資料から拾えるかが得点に直結する。医学部志望の生命線である「速く・正確に」を型で固める。

前提チェック



入力ユニット

この回から開始してよい。事前知識は不要。

この回のポイント



主張の配置

主張は「結論部」と「くり返し」に出やすい。



根拠の構成

根拠は「具体例」「データ」「因果関係」で形成される。



論理の標識

「接続語」が論理の道しるべとなる。

定義：主張を診断する

主張

筆者が読者に
受け入れてほし
い中心命題。

≠

ノイズ

感想

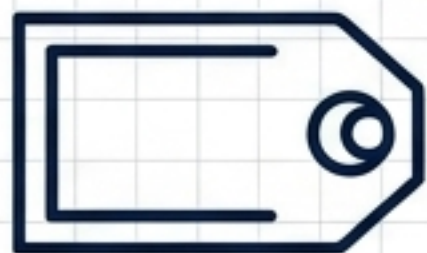
一般論

主張と一般論・感想を明確に区別せよ。

核となる手順（試験でそのまま使う）



設問を先に見て探す情報を決める。

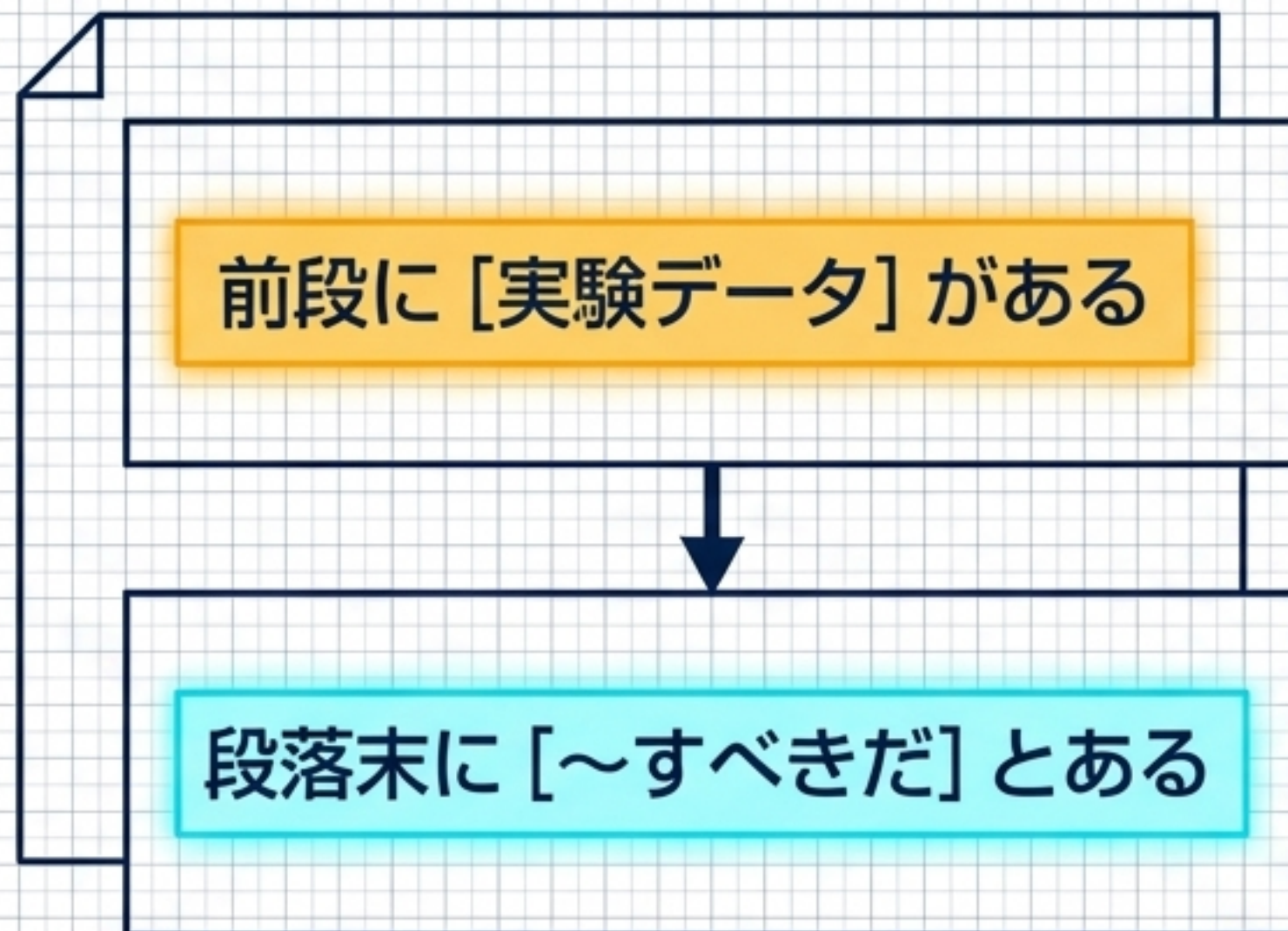


各段落の役割（導入・展開・結論）を
ラベル付けする。



主張候補を一文で書き、
根拠段落を指差す。

例題A（標準・型の確認）



主張と根拠はどれか？

解答A

主張 = ～すべきだ
根拠 = 実験データ段落

例題B（共通テスト型・やや実戦）



「しかし」の後に筆者の立場が来る典型パターンを一言で言うと？

解答B

逆接の後が本論・主張側になりやすい。

演習（自力で再現）

主張を探すとき、最初に見るべき3か所を挙げよ。

結論段落

くり返し

逆接の後

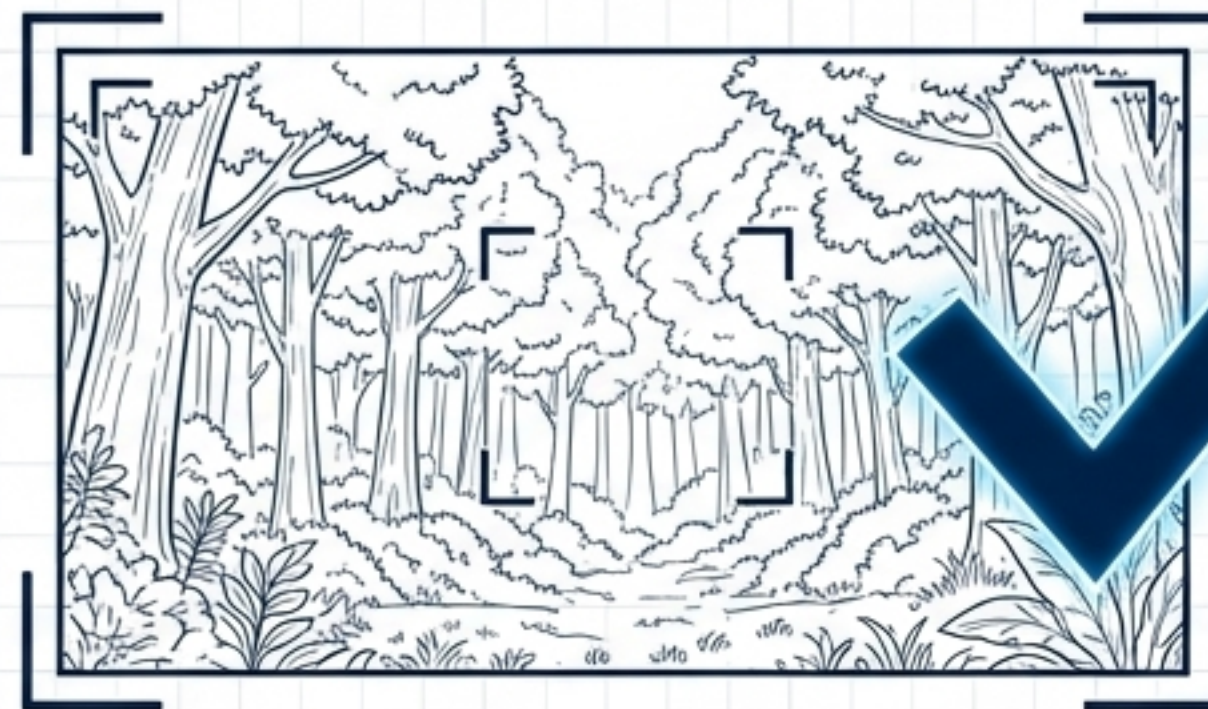
落とし穴（減点・ひっかけパターン）



自分の感想を主張と取り違える。（鏡の罠）



具体例だけ読んで全体を決めつける。（トンネルビジョン）



ミクロ（具体例）に囚われず、マクロ（全体の主張）を見失わないこと。

到達チェック（完璧の条件）

☐

ゴールを何も見ずに言えるか

☐

例題A・Bを白紙で手順から再現できるか

☐

落とし穴を「なぜダメか」まで説明できるか

☐

次の単元に進む前に、今日の型を1問で使えるか

次へ →

ユニット: ME-JA-02